令和6年度社会福祉法人かえつ福祉会事業報告

【かえつ福祉会理念】

わたしたちは「いつでも、どこでも、誰でもが安心できるケア」を提供し、地域住民と利用者とともに安心して住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

【施設運営理念】

〇利用者の立場に立ち人権を尊重した運営を行います。

〇医療との連携を強め、障害があっても最後までその人らしく暮らせる施設を目指し、利用者とそのご家族が納得できるように支援します。

〇利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります。
家庭的な雰囲気のなかで一人一人の個性や生活のペースを大切にした健康的な生活と、利用者が相互に社会的関係を築き、自立と自由を大切にした日常生活が送れるよう支援します。

〇利用者が地域の一員として地域や家族との結びつきや交流を大切にして、安心して暮らせるように支援・活動をすすめます。

〇地域に開かれた施設として地域の声に耳を傾けながら、人の集う場の提供や多様な機関等と連携・協働する、地域とともに発展する組織を目指します。

【法人概要】

法人名	社会福祉法人かえつ福祉会
代表者名	理事長　山川　良一
主たる事務所の所在地	新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 5
認可年月日	平成 24 年 10 月 25 日
設立登記年月日	平成 24 年 10 月 26 日
役員数	理事 6 名、監事 2 名、評議員 8 名

【事業】

①　特別養護老人ホームあがうら

②　特別養護老人ホームあがうらショートステイ

③　グループホームあがうら和（なごみ）

【職員総数】

（令和 7 年 3 月 31 日現在）　104 人（他　派遣職員 1 人）

【法人基本方針総括】

① 令和6年度介護報酬改定の内容含むサービスの質の向上について

2024年7月、8月特養で、11月ショートステイでの新型コロナ療養が発生し、高齢者施設としては引き続き感染対策を基本にした運営となりました。一方、特養で、10月、11月にユニットミニ祭りを開催し、入居者・ご家族・職員の交流ができました。8月、3月に家族懇談会を開催しました。ご家族から要望が多かった面会時間の延長を行いました。「ご利用者の希望をかなえる」取り組みは、ご家族様アンケートへと発展し53通の返信をいただきました。

② 地域における公益的な取り組みの推進、地域の信頼と協力得るための情報発信について

阿賀浦地区地域福祉懇談会、阿賀小学校福祉教育での高齢者体験と講和、秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会に参加し、地域とのつながりを深めました。2か月に1回、地域の主任ケアマネジャー会議に4階交流スペースを開放しました。地域版「あがうらだより」を2回発行し、14町内会での回覧をおこないました。

③ 介護職員等の処遇改善と管理者の世代交代に伴う運営体制の見直しについて

令和6年度介護報酬改定に伴う財源で、人材確保に取り組み、基準以上の定数を保持できました。管理者の世代交代を行い、新しい管理運営体制での運営をすすめました。

④ 法令遵守の経営をすすめます。

3月新潟労働局による労働者派遣に係る是正指導より「派遣可能期間の延長に係る意見聴取において受入事業所の変更指導」について改善しました。

【各事業所運営総括】

2024年度　特別養護老人ホームあがうら・あがうらショートステイ運営総括

1．利用者の視点に立ち、入所・入居者、利用者のサービスの向上、地域の一員としての交流を深めます。

・ご本人への聞き取りと、ご家族様へのご希望アンケート（4.5月実施53件回収）で要望実現をすすめました。「甘い物、おいしい物が食べたい」「いちごが食べたい」「旨い酒とお米が食べたい」「ラーメンが食べたい」「職員からたくさん声を掛けてほしい（ご家族）」などの要望に対してユニット行事、お誕生会などで1つずつ実現していきました。

・9月末から10月中旬にかけて分散型のミニ祭りを予定しましたが、開催前日に職員のコロナ感染があり、9月末予定だったミニ祭りは11月に延期となりました。今年度はフロア単位で3日間に分けて実施しました。出店やゲームコーナー、入居者様とご家族様がゆっくり過ごせるスペース等を準備し、フロア全体を活用して楽しんでいただきました。51家族、90名のご家族様と5名のボランティアさんが参加されました。8月ご家族懇談会には30名、3月ご家族懇談会には41名参加していただき、ご家族間交流もできました。

・9月に新津第五中学校の生徒による福祉施設訪問があり、車いす掃除をしていただきました。11月の文化祭の作品展示には、阿賀小学校、新関小学校、新津第五中学校から作品提供いただき、交流が図れました。

・夏季号、新春号と地域版「あがうらだより」を2回発行し、14町内会での回覧をおこないました。

・苦情は13件いただき、各職場で改善に取り組みました。

2．介護の質・業務改善の視点に立ち、ケアの質の向上に努めます。

・「感染」、「虐待・拘束」、「安全」の学習に取り組みました。

当日の参加者と資料を読んでの感想文提出による自己学習を含めた参加率は、5月「安全、救急対応」32.4%、8月感染 75%、11月感染 84%、9月虐待・拘束 93%の修了率でした。

・2024年介護報酬改定学習会を全職員で行いました。内容のポイントとしては、身体的拘束等の適正化の推進、協力医療機関との連携、感染症対策、LIFEの活用、生産性向上の取り組み、介護職員等処遇改善などについて学びました。

・生産性向上委員会を設置し、ペーパーレスカンファレンスや業務日誌のIT化などの業務の合理化、介護業務負担軽減につながる介護ロボットを選定し、県の補助金を活用し導入しました。

・協力医療機関との連携を強めるため、毎月の下越病院グループ連携会議に生活相談員が参加し、新たに新規入居者の情報共有と急変時における対応を確認しました。また、8月には下越病院感染制御看護師より感染ラウンドによる指導を受け、ユニットごとに改善計画書を作成し改善に取り組みました。

・新潟市への事故報告の標準報告様式の改訂に伴い、報告対象を再確認しました。新潟市への事故報告は15件となりました。

３．技術建設・人材育成、成長の視点に立ち、民医連職員の育成をすすめます。

・年１回以上の全職員面接を実施し、キャリアアップを図る外部研修への参加を支援しました。

・施設内事例報告は多職種2事例、介護9事例をまとめました。

ニヤリホット事例は多職種が持ち回りで毎月、職責・リーダー会議で発表し、施設内で14件発表しました。

第74回新潟県看護介護活動交流集会に1研究発表、第28回新潟民医連学術運動交流集会に2事例報告を発表しました。

・中途採用者、異動時の研修に合わせてプリセプターを位置づけました。

担当者研修は実施できませんでした。

４．地域や社会とともにの視点を深めます。

・6～8月に全日本民医連第46回総会方針学習月間を設け、6時間以上勤務職員全員がDVDを視聴しました。

・「現行の健康保険証廃止」に関するアンケートをご家族様へ郵送し、22通の返信がありました。

・柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票を求める直接請求署名運動では25名が受任者となり、署名活動に取り組みました。

・平和の取り組みは、被団協のノーベル平和賞を祝い、平和の木作成に取り組みました。

５．健全な経営収支を確保します。

・特養入居率90.9%（目標92%）、ショートステイ利用率84.7%（目標85%）と目標に達しませんでした。入院の増と感染症療養が入居・利用率に影響しています。

・2024年介護報酬改定に伴い、医療機関連携の強化、生産性向上委員会の設置など加算取得に向けて取り組みました。

・8月より電力会社を変更し、経費削減に取り組みました。

・介護・看護職員補充をすすめ、職員確保に努めました。

2024年度　グループホームあがうら和事業運営まとめ

グループホームあがうら和は開設して5年が経過しました。

今年度は退居5名、新入居5名、年間入居率は90.6%でした。

感染予防策は継続しつつ、地域のボランティアの方々にお越しいただき行事を行いました。また、近隣の小中学生と交流の機会をもつことができました。

地域密着型サービス事業所として、2カ月に1回の運営推進会議は対面で実施しました。ご家族、包括支援センター、阿賀浦コミ協、協力病院、協力施設、他グループホームより参加を得、各参加者からの意見、助言などいただきながら、施設運営をすすめました。毎回、入居者の方々も参加され、発言していただくことができました。

また外部評価を実施し、現状における問題点・課題に取り組みました。

1. 入居者の立場にたったかかわり、それぞれの思いを大切にするケアに向けて取り組みました
   - ・ケアプラン、個別援助計画、24時間シートの見直しを定期的に行い、職員間で情報の共有を行いました。ニーズ、ケアについて毎月のユニット会議で再確認し、入居者の思いを大切にしたケアに取り組みました。

2. 地域との結びつきを大切にしました
   - ・キッズクラブ訪問、近隣の散歩など、積極的に外出する機会を増やし、新津第五中学校1年生と入居者が一緒に体操するなど交流を深めました。外部からのボランティアさんも行事で合計19名の方をお招きし楽しむことができました。ご家族との結びつきでは、面会時や受診対応時、電話での連絡、月1回のご家族への手紙、施設広報誌にて入居者のご様子をお伝えすることを継続しました。

3. 家庭的な雰囲気で役割を持った暮らしを大切にしました
   - ・季節を感じられる行事や、お誕生日会（ゆずユニット19企画、うめユニット17企画）を実施しました。また、2ユニット合同で9月に敬老会、3月にフラダンス公演会を実施しました。日常生活において、家庭的な雰囲気で役割を持って生活できるように環境を整えました。

4. 介護の質、業務改善の視点に立ちケアの向上に努めました
   - ・防火訓練2回、水害訓練1回、地震訓練1回実施しました。地域の方々と協力した防災訓練は実施できませんでした。
   - ・施設内学習は、協力施設の特養とともにすすめ、参加できなかった職員への伝達講習に力を入れました。プライバシー、ハラスメント、倫理及び法令順守の学習会も実施しました。
   - ・ユニット1事例まとめ、にやり・ほっとに取り組み、ケアの振り返りと課題に取り組みました。
   - ・転倒による骨折事故が1件、原因不明の左手第5指付け根の骨折が1件、転倒による左側頭部からの出血が1件、転倒、転倒後の状態変化による救急受診が1件発生し、新潟市へ報告しました。毎月のユニット会議、各ユニットの日曜日ミニカンファにてヒヤリ・ハットや事故の振り返りを実施しました。

5. 人材育成、働きやすい職場環境づくりに取り組みました
   - ・チャレンジシートを活用し、職員面談を2回実施しました。全職員が役割を持ち、業務改善に取り

組みました。

・外部研修の新潟市認知症実践者研修に、前期１名が参加しました。

6. 健全な経営収支を目指しました

・体調不良による入院や退居が重なり、その後の新入居までに時間がかかり、入居率は 90.6%でした。